

機能性ディスペプシアと膵酵素異常精査のために内視鏡検査を受けた患者さん

研究協力をお願い

当科では「日本とシンガポールにおける膵酵素異常を伴う機能性ディスペプシア患者の疫学調査研究」という研究を行います。この研究は、2017年4月1日より日本医科大学武蔵小杉病院消化器内科にて、機能性ディスペプシアと膵酵素異常のために内視鏡検査を受けられた患者さんの疫学調査研究で、研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示によるお知らせをもってご同意を頂いたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の主旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。この研究へのご参加を希望されない場合、途中からご参加取りやめを希望される場合、また、研究資料の閲覧・開示、個人情報の取り扱い、その他研究に関するご質問は下記の問い合わせ先へご連絡下さい。

(1) 研究の概要について

研究課題名：日本とシンガポールにおける膵酵素異常を伴う機能性ディスペプシア患者の疫学調査研究

実施期間：(倫理委員会承認日)～2025年3月31日

研究責任者：日本医科大学武蔵小杉病院 消化器内科 教授 二神生爾

(2) 研究の意義、目的について

機能性ディスペプシアの症状や病態において臨床的には生活習慣などの関与が、生理学的には膵酵素や十二指腸粘膜の炎症が関係することはこれまでも報告されております。

これらの機能性ディスペプシアの症状発症への関与を評価し原因を明らかにすることを目的とします。

(3) 研究の方法について (研究に用いる試料・情報の種類)

2017年4月1日より日本医科大学武蔵小杉病院消化器内科にて、内視鏡検査を受けられた患者さんの臨床症状や膵酵素データ、内視鏡生検材料についての検討を行います。

この研究は、患者さんの以下の試料・情報を用いて行われます。

試料：内視鏡検査時に採取した十二指腸検体

情報：年齢、性別、BMI、既往歴、生活習慣、嗜好歴、内服薬、採血結果(血球、膵酵素、肝機能、腎機能、脂質、HP、HbA1c)、アンケート結果など

(4) 個人情報保護について

研究にあたっては、個人を直接特定できる情報は使用されません。また、研究発表時にも個人情報は使用されません。その他、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針(文部科学省・厚生労働省)」および「同・倫理指針ガイダンス」に則り、個人情報の保護に努めます。

(5) 研究成果の公表について

この研究成果は学会発表、学術雑誌などで公表します。

(6) 問い合わせ等の連絡先

日本医科大学武蔵小杉病院 消化器内科 教授 二神生爾

〒211-8533 神奈川県川崎市中原区小杉町1-383

電話番号：044-733-5181(代表) 内線：3085

メールアドレス：seiji-f@nms.ac.jp